

恋する気持ちを永遠に一
島民のガイドで神島を歩こう

小説「潮騒」クライマックスシーン 神島・監的哨ツアー

ツアー記念品プレゼント付

7月10日(日)・18日(祝)

昭和4年に陸軍の大砲の着弾点を確認するために建てられた「監的哨」は老朽化が進み、この夏から立ち入りが禁止となります。

「潮騒」で描かれたあの思い出のシーンを神島の島民と共に歩く「監的哨ツアー」三島ファン、小百合さんファン、百恵ちゃんファン、みなさんの心に監的哨を刻みましょう。



神島を訪れた三島由紀夫は、昭和28年にこの島を舞台にした純愛小説「潮騒」を発表。海女の初江と漁師の新治の淡い恋物語は多くの人を魅了した作品となりました。そして青山京子さんと久保明さんが神島を訪れ、小説そのままに神島で撮影が行われ、昭和28年に映画「潮騒」が上映されました。このあとも昭和39年には吉永小百合さん、浜田光夫さん、昭和46年には小野里みどりさん、朝比奈逸人さん、昭和50年には山口百恵さん、三浦友和さん、昭和60年には堀ちえみさん、鶴見辰吾さんが主演を務め、いずれも神島がロケ地となりました。日本映画史上、同一作品を5度も映画化したのは、「潮騒」だけと言われています。

「潮騒」で描かれた島のさまざまなシーンでも、特に人々の心にとまる場所となったのは、嵐の中、初江と新治がお互いの気持ちを確かめ合うシーン。「この火を飛び越えて来い」というセリフと共に心に刻まれた「監的哨」は、まさに神島に存在しています。



監的哨の内部：囲炉裏

ツアー料金(お一人様)

3,500円

(お弁当、ガイド料、保険料)

市営定期船神島棧橋集合・解散
定員各日20人。事前予約必要

乗船時間など詳細はお電話にて
ご案内します

島の旅社推進協議会

事務所：鳥羽市桃取町 0599-37-3339 (平日10-16時)